



社会の変化に
あわせる

「グローバル化が進み、変化の予想が難しい時代を生き抜いていく子どもたちに必要な力を育てたい」
よりよい学びを実現するために
日々現場で奮闘する先生方に向けて、
研修を実施しています。

「外国語学習のめやす」ワークショップ

KEY WORD

「外国語学習のめやす」とは…

TJFが2012年に刊行した高校から始める外国語学習の指針。2013年度から2015年度まで毎年20名限定で集中セミナー、実践、報告会からなる研修を一年にわたって実施。この研修修了者が「めやすマスター」となった。



めやす

『外国語学習のめやす』（以下「めやす」）を英韓西中独日仏露8言語で活用する55人の「めやす」マスターが誕生したのは2015年度のことです。

「めやす」マスターはそれぞれ分野で、より広く「めやす」を共有するため、ワークショップ型研修を企画・実施しています。

2017年度は、ソウルと日本をオンライン会議システムZOOMで結び、「めやす」を取り入れた「交流学习」を学び合う教師研修が行われました。このときの参加者同士で10組以上が交流学习の実践を始めています。



東京

ZOOMでつながった日本会場と韓国会場



ソウル

「めやす」ワークショップは、教える言語の違いを超えて開かれることもひとつの特徴です。2017年度も、スペイン語、ドイツ語、日本語の「めやす」マスターが協力して実施した合宿型の研修には、英語、スペイン語、ドイツ語、日本語、フランス語の先生方が参加しました。海外では、初めて台湾、アルゼンチン、ブラジル、ペルーで日本語の先生方を対象とするワークショップが実施されました。「めやす」マスターの活躍で国や言語を超えて「めやす」が広がっています。

2017年度事業データ

「外国語学習のめやす」合宿～ルーブリックを取り入れたパフォーマンス評価

期間：8/22（火）～8/23（水）、場所：立命館大学、主催：TJF、共催：「めやす」マスター有志、講師：阪上彩子（関西学院大学講師）、田原恵和（立命館大学准教授）、村上陽子（関西学院大学准教授）、参加者：西独日仏語教師、大学院生、計17名

「外国語学習のめやす」ワークショップ～21世紀型スキルをみにつける授業について考えよう

期日：8/30（水）、場所：台湾・淡江大学、主催：淡江大学日本語学科、共催：台湾日本語教育学会、TJF、基調講演：山崎直樹（関西大学教授）、講師：植村麻紀子（神田外国語大学准教授）、阪上彩子、田原恵和、参加者：30名

「外国語学習のめやす」セミナー～日韓合同「交流学习」研修

期日：2018/2/24（土）、場所：〔日本側〕TJF、〔韓国側〕国際交流基金ソウル日本文化センター、主催：TJF、共催：国際交流基金ソウル日本文化センター、「外国語学習のめやす」マスター有志、講師：〔日本側〕澤邊裕子（宮城学院女子大学准教授）、中川正臣（目白大学客員研究員）、〔韓国側〕相澤由佳（聖潔大学助教授）、岩井朝乃（弘益大学助教授）、参加者：〔日本側〕19名、〔韓国側〕13名

「外国語学習のめやす」合宿～「外国語学習のめやす」の目標分解表を作ろう

期間：2018/3/12（月）～13（火）、場所：立命館大学、主催：TJF、共催：「めやす」マスター有志、講師：阪上彩子、田原恵和、村上陽子、参加者：英西独日語教師、大学院生、計16名

「めやす」マスターの南米派遣

①期日：2018/2/23（金）、場所：アルゼンチン・ブエノスアイレス、参加者：25名、②期間：2018/2/26（月）～27（火）、場所：ペルー・リマ、参加者：23名、③期間：2018/3/1（木）～2（金）、場所：ブラジル・ブラジリア、参加者：19名 ①②講師：阪上彩子*、田原恵和、③講師：阪上彩子*

①-③とも主催は現地機関 *渡航費をTJFが負担

社会変化に対応し学びをデザインする教師研修

稲垣忠・東北学院大学教授（教育工学）による、探究学習やプロジェクト学習の学びの質的な側面をどう評価するかをテーマとしたワークショップを行いました。○×での判断や点数化がしづらい思考や論理、表現などを評価するときに役立つのがルーブリックです。稲垣先生は、ルーブリックづくりの作業をすることで、各単元の学習内容や目標を整理して優先順位をつけたり、生徒がどういところでつまずきやすく、どんな手だてが有効なのかを明確にすることもできると言います。

今回は、稲垣先生の提示する3つのルーブリックの作り方のなかから、生徒の作品をもとにする方法に取り組みました。実際の作品から抽出した評価の観点と基準なので、生徒の実態に合うという利点があります。まず、それぞれ



ルーブリックの作り方

- 目標ベース** 単元の到達目標を細分化・具体化しながらつくる
- 作品ベース** 学習者の作品から質的な差異を取り出してつくる
- 即興ベース** 授業のなかで生徒と対話しながらつくる

が持ち寄ったパンフレットや発表動画などを見直して、ざっと4つの段階（レベル）に振り分けます。その後、振り分けの際の理由や視点は何かあったのか考えて書き出します。それを思考と表現の二つの観点に分けて記述し直してルーブリックをつくりました。

また、インターネットを使った同時配信も行い、大阪、鹿児島、神奈川、北海道、フランスなどから参加がありました。

2017年度事業データ

21世紀の北海道の英語教育：マスタープランからレッスンプランへ

期間：8/1（火）～8/3（木）、場所：北海道、講師：當作靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）、参加者：北海道の公立高校の英語教員10名

プロチープメントテストの理論と実践：効果的なパフォーマンス評価

期日：9/20（水）、場所：沖縄、講師：當作靖彦、参加者：沖縄県立高校の外国語教員60名、主催：沖縄県教育委員会、共催：TJF

第4回小中高校教育関係者向けCMづくりワークショップ

期日：11/5（日）・11/12（日）、場所：TJF、講師：近藤祐見（（株）電通CMプランナー）、参加者：小中高校の教員ほか6名

Minds-onの学び

期間：2018/2/17（土）～18（日）、場所：北海道、講師：細井洋実（聖心インターナショナルスクール教諭）、参加者：北海道の公立高校の英語教員12名（オンライン参加者を含む）

学びの質にこだわってみよう～ルーブリックで評価を見える化する

期日：2018/3/21（水）、場所：TJF、講師：稲垣忠、参加者：小中高校の教員15名（オンライン参加者含む）

タイトル	外国語活動 6年 (Lesson 1)		
学年	6年生		
教科	外国語		
コメント	小学校外国語活動で、「Hi, friends!」を使ったアルファベットの指導を行います。大文字はすでに5年生で学習済みです。大文字と小文字の相互の認識ができる段階まで学習します。ここでは、児童が各レッスンの終了後に作成する「振り返り」をメタ認知するために、ルーブリックを作成してみました。各単元の最後に、振り返りカードを見ながら、児童に相互に、		
評価規準	S評価	A評価	B評価
思考 (アルファベットの字形認識)	間違えやすいものと、間違えにくいものの例をいくつあげ、それらをどう覚えたらよいか、具体的な記述が見られる。	アルファベットの字形の違いに気づき、間違えやすいものと、間違えにくいものの例をいくつか記述することができる。	アルファベットの字形の違いに気づき、間違えやすいものと、間違えにくいものの例を1つは記述することができる。
思考 (学習ストラテジー)	活動をする際に、どのような点を工夫して取り組めばよいかの具体的な記述と、英語効果についての記述が見られる。	活動をする際に、どのような点を工夫して取り組めばよいかの具体的な記述が見られる。	活動を行った際の、難しさや、楽しさに関する主観的な感想程度の記述が見られる。
	全ての学習目標に対して、一つ一つ具体的に学びの振り返りが	全ての学習目標に対して、一つ	いくつかの学習目標に対して、

●このワークショップでつくったものを含め、さまざまなルーブリックが稲垣先生が運営する「ルーブリックバンク」に掲載されています。ウェブ上でルーブリックを作成することもできます。 <https://mm4.cs.tohoku-gakuin.ac.jp>

●表紙のカードは稲垣先生が考案した学習活動カードです。下からダウンロードできます。 <http://ina-lab.net/special/joker/pbl/#i-2>

交流学习への一歩が踏み出しやすくなった気がします。つながりを大切に、アイデアの交換なども続けていけたら嬉しいです。

プロジェクト型の授業を行っていますが、それを成績にどう反映させるかがとても難しい。公平性が見えにくいのではないかと悩み、参加しました。

参加者の声

実施に向けて、環境面での制約はありますが、まずはビデオレターなど可能な範囲で交流ができるよう、工夫してみようと思います。

小学校の英語が教科化され、どう評価していくか。これまで振り返りカードを集めて返すだけでしたが、ルーブリックを使って評価してみたいです。

交流相手の学校を探すのが難しくそうです。相手が見つければ、今日作成した案通りにやってみたいと思います。

児童の成果物から、逆引き発想でルーブリックをつくるという斬新な発想に目からうろこでした。ほかの教科でも活用できる素晴らしい方法だと感じました。

教師向け研修 2018



「めやすWeb」では、『外国語学習のめやす』を使って、よりよい授業をしたいと願う教師のために、実践例や研修などの情報を随時更新し提供しています。

「めやす」マスター有志による、長年の実践と研究、研修活動に基づく初の研究書『他者とつながる外国語授業をめざして—「外国語学習のめやす」の導入と活用』（仮題）が2019年3月に（株）三修社より出版される予定です。

メルマガ「わやわや」で研修、セミナーなどの情報をお知らせしています。ぜひ登録ください。

